

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 28 年 3 月 17 日 (2016.3.17)

【公表番号】特表 2015-505579 (P2015-505579A)

【公表日】平成 27 年 2 月 23 日 (2015.2.23)

【年通号数】公開・登録公報 2015-012

【出願番号】特願 2014-555737 (P2014-555737)

【国際特許分類】

C 0 8 F 2/40 (2006.01)

C 0 8 F 12/08 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 F 2/40

C 0 8 F 12/08

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 1 月 27 日 (2016.1.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ビニル芳香族モノマーの重合を抑制する組成物であって、  
(1) ヒドロキシベンジルアルコールと、  
(2) 脱水触媒と  
を含む組成物。

【請求項 2】

成分 (1) と (2) が 1 ~ 99 重量 % の (1) : 99 ~ 1 重量 % の (2) の量比で存在する、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 3】

成分 (1) : (2) の重量比が 2 : 1 ~ 20 : 1 である、請求項 2 記載の組成物。

【請求項 4】

前記ビニル芳香族モノマーがスチレン、プロモスチレン、ジビニルベンゼン及び - メチルスチレンからなる群から選択されるものである、請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか 1 項 記載の組成物。

【請求項 5】

脱水触媒 (2) が i) アルキル - 、アリール - 及びアルキルアリール - スルホン酸並びに ii)  $C_2 \sim C_{36}$  飽和又は不飽和カルボン酸から選択される酸である、請求項 1 乃至請求項 4 のいずれか 1 項 記載の組成物。

【請求項 6】

脱水触媒がアルキル - 、アリール - 又はアルキルアリール - スルホン酸である、請求項 5 記載の組成物。

【請求項 7】

ヒドロキシベンジルアルコールがジ - t e r t - ブチルヒドロキシベンジルアルコールである、請求項 1 乃至請求項 6 のいずれか 1 項 記載の組成物。

【請求項 8】

脱水触媒がドデシルベンゼンスルホン酸又は p - トルエンスルホン酸である、請求項 1 乃至請求項 7 のいずれか 1 項 記載の組成物。

## 【請求項 9】

さらに、(3) ヒドロキシルアミン化合物を含んでいて、ヒドロキシルアミンが成分(1)と(2)の合計量を基準にして1～99重量%の量で存在する、請求項1乃至請求項8のいずれか1項記載の組成物。

## 【請求項 10】

さらに、(4) ニトロキシル化合物を含んでいて、成分(4)が成分(1)と(2)の合計量を基準にして1～99重量%の量で存在する、請求項1乃至請求項9のいずれか1項記載の組成物。

## 【請求項 11】

ビニルモノマーの重合を抑制する方法であって、(1) ヒドロキシベンジルアルコールと(2) 脱水触媒をモノマーに添加することを含む方法。

## 【請求項 12】

成分(1)と(2)が1～99重量%の(1)：99～1重量%の(2)の量比で存在する、請求項11記載の方法。

## 【請求項 13】

成分(1)：(2)の重量比が2：1～20：1であり、成分(1)と(2)をビニルモノマー百万部を基準にして10～10000ppmの合計量でビニルモノマーに添加する、請求項11又は請求項12記載の方法。

## 【請求項 14】

脱水触媒が、i) アルキル - 、アリール - 及びアルキルアリール - スルホン酸並びに ii)  $C_6 \sim C_{22}$  飽和又は不飽和カルボン酸から選択される酸である、請求項11乃至請求項13のいずれか1項記載の方法。

## 【請求項 15】

ヒドロキシベンジルアルコールがジ - t e r t - ブチルヒドロキシベンジルアルコールである、請求項11乃至請求項14のいずれか1項記載の方法。

## 【請求項 16】

酸がドデシルベンゼンスルホン酸又はp - トルエンスルホン酸である、請求項14記載の方法。

## 【請求項 17】

さらに、(3) ヒドロキシルアミン化合物をビニルモノマーに添加することを含んでいて、ヒドロキシルアミンが、ビニルモノマー百万部を基準にして1～10000ppmのヒドロキシルアミン換算量で添加される、請求項11乃至請求項16のいずれか1項記載の方法。

## 【請求項 18】

さらに、(4) ニトロキシル化合物をビニルモノマーに添加することを含んでいて、ヒドロキシル化合物が、ビニルモノマー百万部を基準にして1～10000ppmの量で添加される、請求項11乃至請求項17のいずれか1項記載の方法。

## 【請求項 19】

ビニルモノマーの重合を抑制する方法であって、請求項1の組成物の有効量をビニルモノマーに添加することを含む方法。

## 【請求項 20】

前記組成物が、ジ - t e r t - ブチルヒドロキシベンジルアルコールとドデシルベンゼンスルホン酸又はp - トルエンスルホン酸とを含む、請求項19記載の方法。